

# Nara 奈良県

奈良県福祉医療部医療政策局 疾病対策課



## 奈良県の概要

奈良県は日本のほぼ中央部、紀伊半島の真ん中に位置し、大阪府・京都府・和歌山県・三重県に囲まれた海のない内陸県です。県庁所在地である奈良市は、東大寺や春日大社などの社寺が多数存在し、古代の文化に触れることができるとともに、奈良公園では鹿との触れ合いを楽しむことができ、観光の名所となっています。

奈良県の人口は約134万人(2017年10月推計人口)で、12市15町12村から構成されています。県内には5つの二次保健医療圏があり、2018年4月現在、国が指定する都道府県がん診療連携拠点病院1施設、地域がん診療連携拠点病院4施設、地域がん診療病院1施設が整備され、さらに県指定の奈良県地域がん診療連携支援病院が3施設整備されています。

## 奈良県のがん登録事業について

奈良県では、がんは1979年より死亡原因の1位であり、毎年約1万人の方が新たにがんと診断されるとともに、約4千人の方ががんで亡くなっています。がんの実態に即したがん対策を推進するために、がん登録室を2012年1月から県直営として奈良県医療政策部保健予防課(組織改編により、2018年4月より福祉医療部医療政策局疾病対策課)内に設置されています。現在、登録室責任者1名、作業責任者1名、登録実務担当者2名で登録業務を行っています。↗



奈良県がん登録室のメンバー



せんとくん

©NARA pref.

## 現状と課題

奈良県では、2012年からがん登録事業を開始し、2009年症例より登録を行っています。届出協力医療機関数は、地域がん登録事業では99施設、全国がん登録事業では122施設から届出をいただいています。

事業開始から今年で7年目となりますが、毎年がん登録担当者向けの研修会を開催していることもあり、登録精度は年々向上しており、2011年症例で国内基準に、2012年症例で国際基準に達しました。また、2011年症例より遡り調査を実施していることも登録精度向上の大きな要因となっており、直近の2015年症例においては、DCN 6.0%、DCO 3.9%となり、より正確な罹患データの把握に繋がっています。

本県のがん登録事業は歴史が浅く、比較・検討に用いることができる経年データがまだまだ少ない状況ではありますが、がん対策推進協議会やがん登録部会において分析方法等について議論を深め、限られたデータをどのように活用していけるのか検討を進めております。今後、より精度の高いデータ収集に努め、さらなるデータ分析を行い、がんの部位別・地域別のがん対策の推進に寄与していきたいと考えております。

## 最後に

2016年より全国がん登録が開始となり、すべての病院・指定診療所からの届出によって、より正確な罹患情報が収集できるようになりました。奈良県では、データ分析・活用方法について検討を始めたばかりですが、引き続き精度の高いデータを蓄積・収集し、がん種別や地域の実情に応じたがん対策が実現できるようデータ分析を進めてまいりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。